

令和5年度 学校評価報告書

丹波篠山市立城南小学校
校長 小林 義 則

1 学校教育目標等

『夢や希望をもち、個が輝く楽しい学校づくり』

2 今年度の重点目標

- ・安全で安心して学べる教育環境づくり
- ・生徒指導における協働体制の確立
- ・豊かな人間関係や人権感覚の育成
- ・言語活動を充実し確かな学力の定着を図る
- ・地域とともにある学校の推進

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分 野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全安心な 学校づくり	環境整備・感染症対策	A	・日頃から、安全点検での課題をまとめ、整理整頓や安全への注意、修繕を細やかに行うことができた。 ・児童が感染予防やケガ等について、場面で指導を行い意識を高めてきた。引き続き、危機管理意識を高める指導を行っていく。
	規範意識の醸成	B	・あいさつについては今後も教職員からの積極的な働きかけと共に、家庭と連携を図り大人側から積極的に実践していく。 ・時間を守ることの大切さやルールを守る態度が少しずつ定着してきている。
学習指導	ICT機器や図書等を活用し、視覚支援や学びを確実にする授業改善に取り組んでいる。	A	・毎日のきめ細かな指導により、おおむね基礎学力の定着がなされている。 ・子どもたちが進んでクロームブックを活用し、積極的に学習に取り組んでいる。
	児童が主体的に学べるように課題（宿題・自学など）を工夫して取り組んでいる。	A	・課題を達成するための宿題を出したり、自学ポイント制での意欲付けをしたりしている。また、職員室前に良い自学を掲示し参考にさせることで全体的に自学の質が高まりつつある。 ・児童の実態に合わせて課題を工夫している。
	グループやペアでの学び合いや発表等、個人思考や自己表現の場を保障する授業改善に取り組んでいる。	A	・授業では、意図的にペア学習やグループ学習を取り入れ、児童が考えを出し合える活動を設けている。発達段階に応じて話し合いのスキルを身につけさせていくことが必要である。 ・低学年から相手の話を聞くことや意見を言う積み上げが大切である。
生徒指導	道徳や学級活動を中心に、自己肯定感を高める取り組みを行っている。	B	・学級活動や道徳を中心に、児童の自己肯定感を高めるような指導を行っている。 ・日常の中で児童を認め、褒めて自信を持たせるようにする。
	相手を大切に思うことができるように、人権の視点を大切に学級経営を行っている。	A	・優しく接することができていると感じている児童、指導ができていると感じている保護者がほぼ9割である。 ・個に応じて、相手を大切にするような指導をしたり、クラス全体に話をしたりして学級が安心な場所となるよう指導を心がけている。

地域とともに にある学校	地域にでかけたり、体験的な活動を取り入れたりしてふるさと学習を計画的に取り組んでいる。	B	・どの学年も児童の発達段階に応じた地域素材を生かしてふるさと学習を行うことができた。
	場に応じた丁寧な言葉遣いを指導している。	B	・教職員は、児童の前に立つときは、丁寧な言葉遣いや〇〇さんと呼ぶことを意識して話している。 ・良くない言葉遣いを見つけたら、その場で指導しているが、休み時間など見えないところでは児童の様子が十分に分からないところがある。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

・「一生懸命に学ぶ子」において主体的に学んだり、タブレットを活用したりするなどの項目が、児童・保護者・教師のどの立場でも、高い評価になっている。取り組みが進んでいると感じた。 ・とても気持ちの良いあいさつができています。 ・自尊感情が低い数字となっているが、心が充実すれば高まっていくと思うので今後ともしっかりと育てていただきたい。 ・よくあいさつができています。学校に行ったときなど、児童の方からあいさつをしてくれる。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

・おおむね良い評価ができており（特に児童・保護者）、平素の教育活動の成果がでているのではと思います。 ・評価項目により、児童・保護者と教員の差があるものがあるが、この差をしっかりと埋めるように取り組んでいただきたい。同じような項目をまとめられているので差はあるが質問の内容に違いがあると一概に言えない項目もある。 ・評価の項目を具体的な数値を入れると、保護者も評価がしやすくなるのではないかな。 ・学ぶことの楽しさを知っている子に対して自学は素晴らしいと思います。学年の発達や個々の学習状況などを考えながら取り組んでいただくと学習への意欲につながっていくと思います。 ・朝食や就寝時刻は家庭でのことになるので、学校ではその大切さを指導いただき、家庭ではしつけとして取り組んでいただき、それぞれが協力・連携して取り組めるようになればよいですね。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分 野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	・子どもたちの適切な宿題の量や内容については検討していただいているようですがなかなか主体的に取り組む様子が家では見ることができません。自分でできるようになってほしいです。 ・学習の様子を参観したときに自分の考えを言えるお子さんと言えないお子さんがいると感じます。グループ学習しても発言の量に差があるように感じます。
生徒指導	・自分の心が満たされていれば、自己肯定感も高くなるし、人にも優しくなれたり言葉遣いも丁寧にできたりするようになると思います。できないことを数えていくのではなく、みんなで認め合える仲間作りに取り組んでいただいているので、落ちついて過ごせているのだと思います。 ・先生やともだちに褒めてもらったり、いいねと言ってもらえたりすることにより自分の良いところがわかってくると思う。しかし、なかなか自分で言えるということは難しいでしょうね。それが謙虚で良いところでもあるという見方もあると思います。
地域とともに にある学校	・畑にいと、児童から大きな声で「帰りました」と大きな声であいさつをしてくれます。うれし - い限りです。低学年の児童は、特に元気の良い声で感心しています。 ・ふるさと学習や体験活動を通じて成長できていると児童・保護者の8割以上が成果を感じておられる。今後とも積極的に取り組んでいただければと感じた。 ・田植えや稲刈りなど体験して、昔の人の稲作りが大変だったことが少しでも心に残っていればうれしく思います。